

高森町地域交流センター（仮称）建設検討委員会視察報告（北方町）

1.目的

現在基本設計を行っている地域交流センター（仮称）建設にあたり、当町のプロポーザル設計案にあるキャノピーや全開閉可能な窓、移動式観覧席など参考としたいものがあるため、建設検討委員会で視察を行い、基本設計の参考とするため。

2.期日 令和 6 年 7 月 30 日（火）

3.参加者

検討委員 5 名、町職員 2 名、基本設計業者 3 名

4.視察先

北方町役場

庁舎：平成 28 年 3 月しゅん工 鉄骨造 3 階建免震構造

延床面積：5,220 m²

総事業費 1,917,210 千円

◎特徴的な部分

- ・町のシンボルとして大屋根を採用し、周りに回廊がある。
- ・壁はガラス窓を多めに採用しているため建物内は明るく、建物外から建物内がよく見える。良くも悪くも見通しがよい。
- ・建物内には LED 照明を設置しているが、室内が明るいため 30～50% の出力で使用している。
- ・建替したことで、庁舎に子どもが来て本を読んだり勉強するなど町民との距離が近くなった。
- ・1 階にあるいこいの広場は、学習スペースや、井戸端会議の場、各種出張講座の場としての利用があるほか、窓を全開放可能なため、外の屋根の軒下部分とあわせてのイベントにも利用できるようになっている。（屋根下部分が 5m 程度あり、スペースとしては十分ある。）・・・高森町としても採用したい部分。
- ・いこいの場にあるソファは県産材を利用した特注品を採用している。
- ・屋根の軒下部分は祭りの際の飲食場や散歩コース、消防団の訓練スペースにも利用されている。
- ・廊下の上は、建築資材を有効活用することで天井がない状態となっている。また、倉庫やボイラー室など人の目につきにくい場所は、吹き付け材がそのままにしているなど、低コスト化も行っている。

- ・議場は災害時に弱者避難場所としての使用を想定しており、議場にある什器は移動・収納可能となっている。

視察の写真は以下のとおり。

令和6年7月30日

高森町地域交流センター（仮称）建設検討委員会

岐阜県~~岐南町~~、北方町視察写真



岐阜県北方町役場

外観



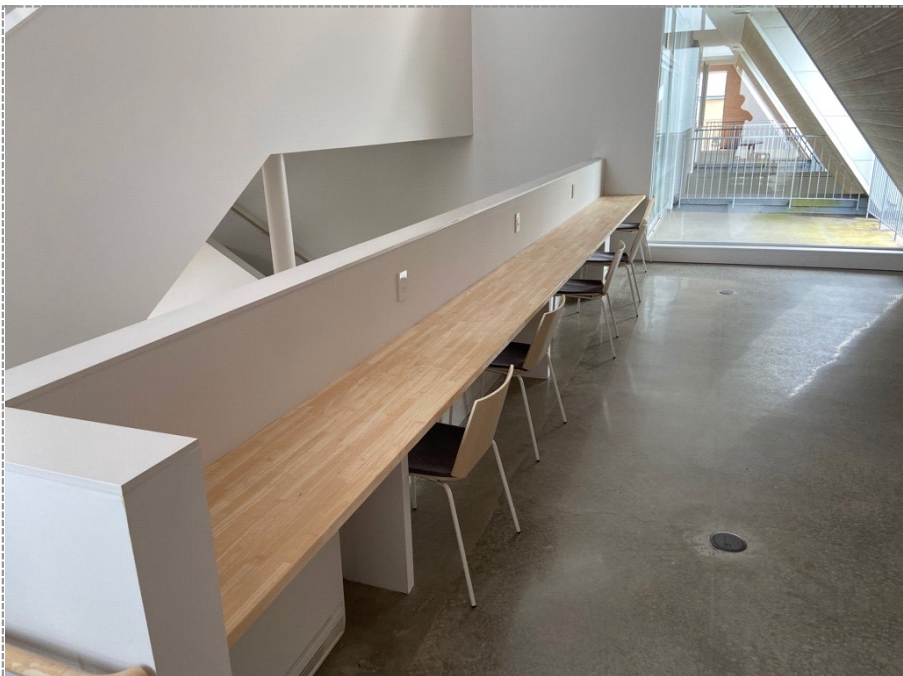
ひさし部分



テラス部分



2階廊下



2階ラウンジ(学習スペース)



1階いこいの広場



県産材利用のソファ



いこいの広場横開閉窓
(全開放可能)



いこいの広場階段下本棚



授乳室



集いの広場
(団体の場合予約利用)

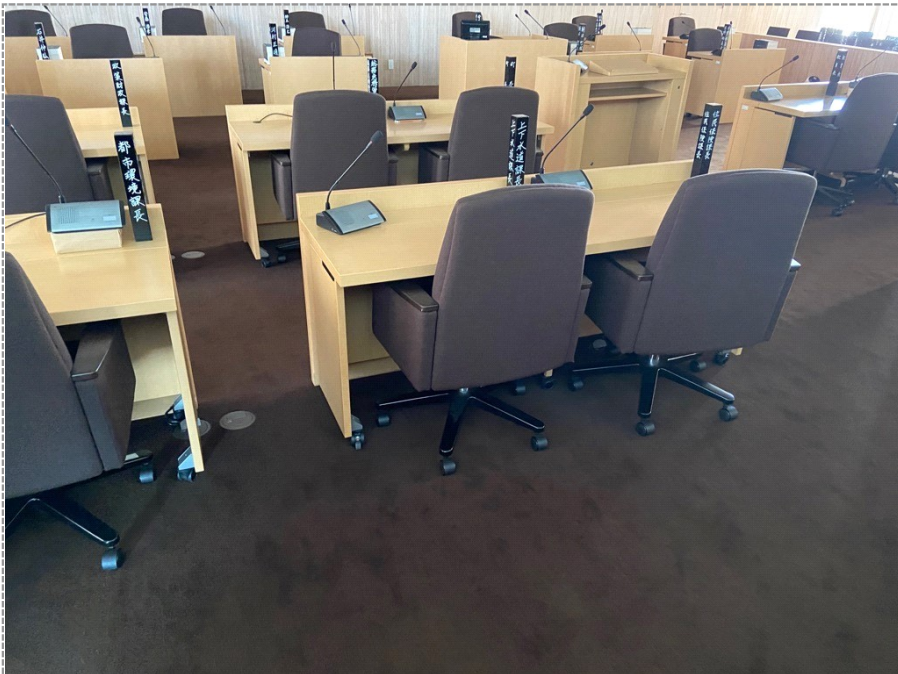


学びの広場
(右下はボイラー室)



議場

(災害時は弱者避難場所のため、机イスは可動式)



議場



2階から見たいこいの広場



エレベーター



議場天井

#VALUE!

次 第

日時 令和6年7月30日
13時30分から
場所 北方町役場第1会議室

1. あいさつ（総務危機管理課長）

2. あいさつ（高森町役場総務課長様）

3. 概要説明

4. 庁舎視察

5. 質疑

- ・災害時はとにかく機能を止めないことを中心に考えた。
- ・議場を弱者の避難場所として開放
- ・非常用発電機・・・72時間対応
- ・避難者受入、物資供給、対策本部の3つをどう機能させるかが重要

5000ℓ - 72時間対応

発電機

水タンク

トイレ

シャワー

13時30分

14時30分

高森町役場様視察資料



北方町役場総務危機管理課

はじめに

この度は、数多くある市町村庁舎の中から視察先にお選びいただきありがとうございます。本町は、人口約 18,000 人、義務教育学校 2 校（北学園約 1200 名、南学園 500 名）保育園が 3 園（230 名）、総合体育館、文化ホール、その他の公共施設を有しております。行政面積 5.17 km²（東西 1.85 km、南北 4.20 km）を有しており、岐阜県下一の人口密度です。北方町は円鏡寺の門前町として栄え毎月 21 日には門前市が円鏡寺公園にて開催されます。円鏡寺の楼門は重要文化財に指定されており、近代社会と歴史の調和がとれた町として栄えています。



北学園



こども園



南学園

1. 大屋根の設計を採用した理由（どのようなコンセプトだったか）。

⇒「北方町新庁舎基本計画」

プロポーザルにより

- ・住民協働によるまちづくり拠点機能
- ・便利でわかりやすい住民サービス機能
- ・効率的で働きやすい行政機能
- ・議会機能
- ・省資源、省エネルギー、周辺環境への配慮

2. 町民を守る機能

⇒町のシンボルとして大屋根を設け、人々の多彩な活動の中心として庁舎が計画されている。大屋根により庁舎と周辺景観をなじませ、町の回廊、緑の回廊を介して住民の活動が広がっていくイメージは明快である。大きな吹き抜け空間、屋根の合間から見えるテラスなど人々の活動が積極的に可視化されており、にぎわいの創出も巧みである。ただし、大空間の空調コスト、大屋根形状に関わる工期管理への懸念も挙げられた。慎重かつ活発な議論の結果、懸念事項があるものの大屋根の果たす様々なメリット、空間構成が町民活動を活発にする可能性を感じられることなどを鑑み、北方町新庁舎の設計者として最も適していると評価した。

⇒次点者：久米・建築計画研究所設計共同体

敷地を駐車場と庁舎空間に二分し、正方形平面でコンパクトかつ機能性に優れた案である。オモテウラの開かれた平面構成、町民活動の場所がアプローチ側に配置され外観を彩る提案は好感が持てる。ただし、建物中央に十分な自然光が入らないこと、北方町のシンボルとしての外観の弱さといった疑義もあった。提案内容の完成度も高く欠点も少ないが、疑問点を修正した場合、提案の基本的概念が崩れかねないこと、議論の中で積極的に推す声が挙がらなかったことなどから、次点者に留まった。



3. 建設にかかる財源は何か。

⇒国庫補助事業 2,280 万円

- ・ 高次都市施設整備補助金（2階北側大屋根の張り出し部分）
- ・ 地域生活基盤施設整備補助金（いこいの広場外）
- ・ 岐阜県市町村再生可能エネルギー等導入推進事業費補助金（太陽光+蓄電池）

⇒地方債 12 億 1,940 万円

⇒一般財源 6 億 7,501 万円 合計 19 億 1,721 万円

3-2. 庁舎備品関係の財源

⇒1 億 219 万円の内

- ・ 木製家具整備事業（窓口カウンター） 450 万円
- ・ ヒノキ製品需要拡大施設等整備事業 50 万円
- ・ 岐阜県ぎふの木育教材導入支援事業 50 万円

4. 新役場を建設したことで旧役場と比べて町民との距離感は変わったか。（町民が来やすくなったなど）

⇒非常に近くなりました。 **部署の色分けによるわかりやすさ**

こどもが遊びに来ます。 **…以前は子どもが役場に来ることはあまりなかったが、今はロビーで本を読んだりしている。**

不審な方がほぼいなくなりました。

窓口で大声を出す方などが少なくなりました。

自治会長等気軽にお見えになります。

5. いこいの広場・つどいの広場・まなびの広場やラウンジの利用状況

⇒いこいの広場

- ・ ホットカフェの開催 **…意見交流の場として利用されている**
- ・ 献血会場
- ・ 井戸端会議の場
- ・ 学生の学習スペース
- ・ 各種出張講座の会場（ハローワーク、スマホ教室など）

⇒つどいの広場

- ・ 木育広場の開催
- ・ 展示スペース
- ・ 団らんの場
- ・ こどもの遊び場

⇒まなびの広場

- ・ 会議スペース
- ・ 期日前投票所
- ・ 外部からお見えになる方との会議スペース

6. いこいの広場の窓を開放することで、外とのつながりができようになっていると思われるが、中外を一体使用しての利用は。また大屋根の軒下を何かに利用しているか。

⇒いこいの広場

- ・献血会場
- ・ホットカフェ
- ・祭り会場など

⇒軒下

- ・祭り時の飲食場
- ・散歩コース（ランニングコース）
- ・ピクニック（未満児）
- ・消防団の訓練スペース
- ・軽作業スペースなど

7. 利用者町民、職員）の意見・評判（はどのようなものがあったか。

⇒良い

- ・とにかく明るい ⇒ 照明器具出力は 30～50%の使用 ……出力を抑えても十分明るい
- ・見通しがいい
- ・解放感がある
- ・白に統一されているので清潔感がある。
- ・低コストである ……コンクリ打ち付けのままのところもある

⇒不評

- ・解放しすぎ（当初）（職員）
- ・気を抜けない ⇒ 丸見えだから（職員）
- ・風通しが良すぎる
- ・声が筒抜け
- ・まぶしい（反射）

8. 建設後の管理などにおける課題はあるか。

⇒大屋根の改修方法をどうするのか。（大屋根の点検・塗装など）

⇒免振ゴムの交換方法

⇒1階の空調機器の取替方法

⇒非常用発電機の交換方法 260kVA 3階に設置

⇒防水改修 金属の屋根、コーキング

